

## 大学の就職・キャリア支援状況に関する調査

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘）の研究機関・就職みらい研究所（所長：栗田 貴祥）は、2022年9月に「大学の就職・キャリア支援状況に関する調査」を実施しました。調査結果をまとめましたので、ご報告申し上げます。

### 調査結果サマリ

- ・キャリアセンター職員数の平均は、回答全体では9.5人であった。学生の就職希望者数別に見ると「300人未満」で3.9人、「1,000人以上」で18.9人と支援対象の学生数に応じてキャリアセンターの規模も異なる。
- ・就職・キャリア支援で重視しているものを聞くと、「学生の就職先への満足度」「就職数・率」が約8割、「就職支援に対する学生の満足度」「未内定学生への支援」が約7割。学生の就職希望者数が多い大学では、重視する項目が多くなる傾向が見えた。
- ・就職・キャリア支援で課題と感じているもの、最も課題と感じているものを聞いたところ、どちらも「未内定学生への支援」が一番高い結果であった。就職・キャリア支援業務の中で業務負荷の高いものでも上位に入っており、学生の就職希望者数の違いにかかわらず共通の課題であることが分かる。
- ・課題を解決する上で不足しているものを聞くと、「人手」や「学生の集客」が上位に挙げられた。学生の就職希望者数が「1,000人以上」の大学では、「教員との連携」も5割を超え高い結果となった。
- ・未内定学生と接点を持つために実施しているものでは、「教員との連携」「学内システム・掲示板での就職支援周知」「電話連絡」「メール送付」がいずれも7割を超え、学生に向けてさまざまな連絡方法を重ねて実施していることが分かる。学生の就職希望者数別に見ると、就職希望者数の多い大学の方がより多くの連絡手段を取っている様子がうかがえる。

就職・キャリア支援において苦勞を感じることについてのフリーコメントの中には、「限られた職員で多くの学生を対応しなければいけない」ことに苦勞を感じるといった声も見られました。課題解決のための具体的な取り組みについても聞いたところ、「外部機関（ハローワーク等）や外部キャリアコンサルタントを活用している」「教職員を対象にキャリア支援に対する理解促進のためにセミナーを実施している」などのコメントもありました。大学内やキャリアセンター内のみで課題を解決することが難しい場合には、上記のような取り組みが有効となるケースも考えられます。

■ 調査概要

調査目的：キャリアセンターにおける支援の現状や抱えている課題について実態を明らかにする

調査方法：インターネット調査

調査期間：2022年9月2日～22日

集計対象：335校

■ 学校区分

(%)

全体	国立／公立	私立
n=335	24.8	75.2

■ 地域

(%)

全体	関東	中部	近畿	その他地域
n=335	31.0	16.7	18.2	34.0

■ キャリアセンター職員数

(%)

全体	5人未満	5～9人	10～14人	15～19人	20人以上
n=335	32.5	32.5	18.2	8.1	8.7

※大学職員ではなく業務委託で支援を担当されているキャリアカウンセラーの方も含む

■ 2023年卒学生の就職希望者数

(%)

全体	300人未満	300～499人	500～999人	1,000人以上
n=335	35.2	15.8	20.6	28.4

## 1) 学生の就職希望者数別 キャリアセンター職員数の平均

キャリアセンター職員数の平均は、全体では9.5人であった。

学生の就職希望者数別に見ると、「300人未満」では3.9人、「1,000人以上」では18.9人と、支援対象となる学生数に合わせて職員数が異なる様子もうかがえる。

### ■ 学生の就職希望者数別 キャリアセンター職員数の平均

(全体/実数回答)

(人)

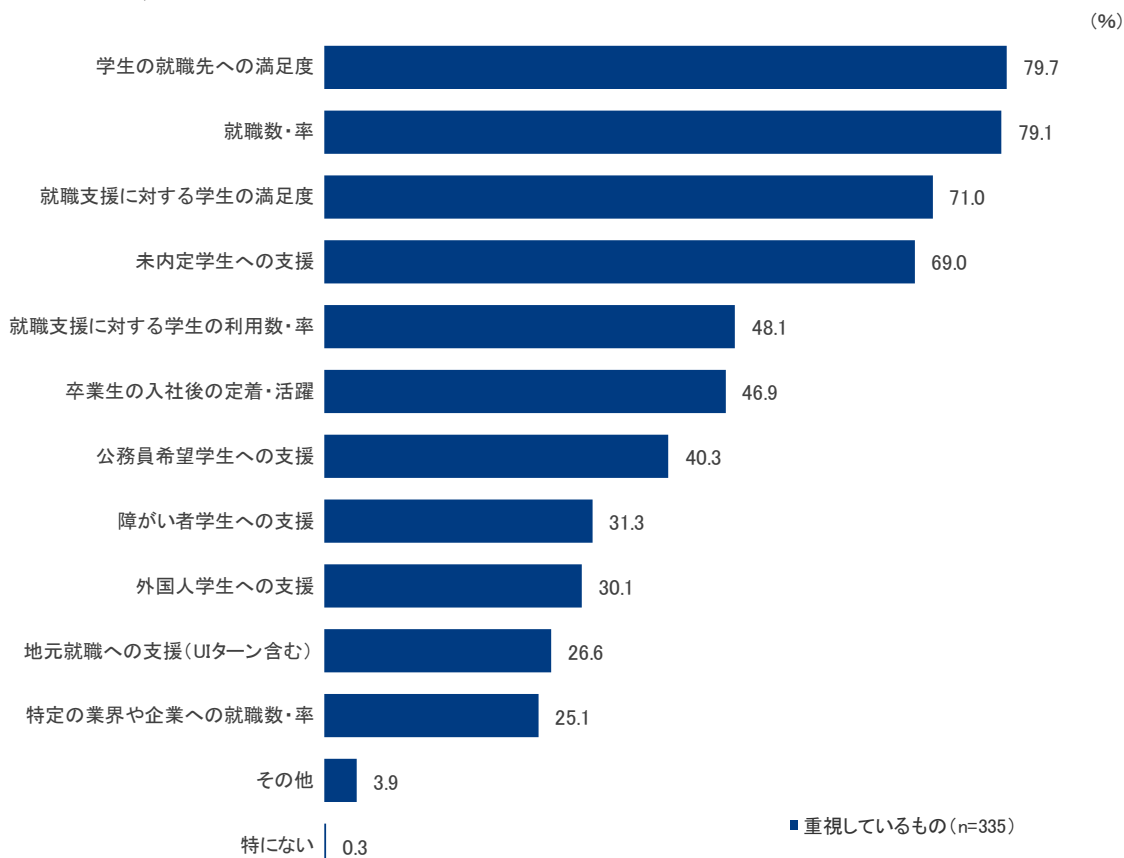
		キャリアセンター 職員数の平均	
全体		n=335	9.5
学生の 就職希望者数別	300人未満	n=118	3.9
	300~499人	n=53	5.9
	500~999人	n=69	9.0
	1,000人以上	n=95	18.9

## 2) 就職・キャリア支援で重視しているもの

就職・キャリア支援において重視しているものは、「学生の就職先への満足度」「就職数・率」が約8割、「就職支援に対する学生の満足度」「未内定学生への支援」が約7割で上位であった。  
学生の就職希望者数別では、就職希望者数が多い大学ほど、重視している点が多い傾向である。

### ■ 就職・キャリア支援で重視しているもの

(全体/複数回答)



		学生の就職先への満足度	就職数・率	就職支援に対する学生の満足度	未内定学生への支援	就職支援に対する学生の利用率・率	卒業生の入社後の定着・活躍	公務員希望学生への支援	
全体		n=335	79.7	79.1	71.0	69.0	48.1	46.9	40.3
学生の就職希望者数別	300人未満	n=118	69.5	78.0	66.9	61.0	36.4	45.8	29.7
	300~499人	n=53	88.7	83.0	79.2	71.7	47.2	54.7	34.0
	500~999人	n=69	82.6	84.1	65.2	71.0	44.9	39.1	40.6
	1,000人以上	n=95	85.3	74.7	75.8	75.8	65.3	49.5	56.8

		障がい者学生への支援	外国人学生への支援	地元就職への支援 (UIターン含む)	特定の業界や企業への就職数・率	その他	特になし	
全体		n=335	31.3	30.1	26.6	25.1	3.9	0.3
学生の就職希望者数別	300人未満	n=118	22.9	27.1	26.3	24.6	2.5	0.8
	300~499人	n=53	17.0	22.6	24.5	30.2	1.9	-
	500~999人	n=69	39.1	26.1	17.4	24.6	2.9	-
	1,000人以上	n=95	44.2	41.1	34.7	23.2	7.4	-

(※) 全体と比べて +10ポイント以上の項目を赤で、-10ポイント以下の項目を青で表記

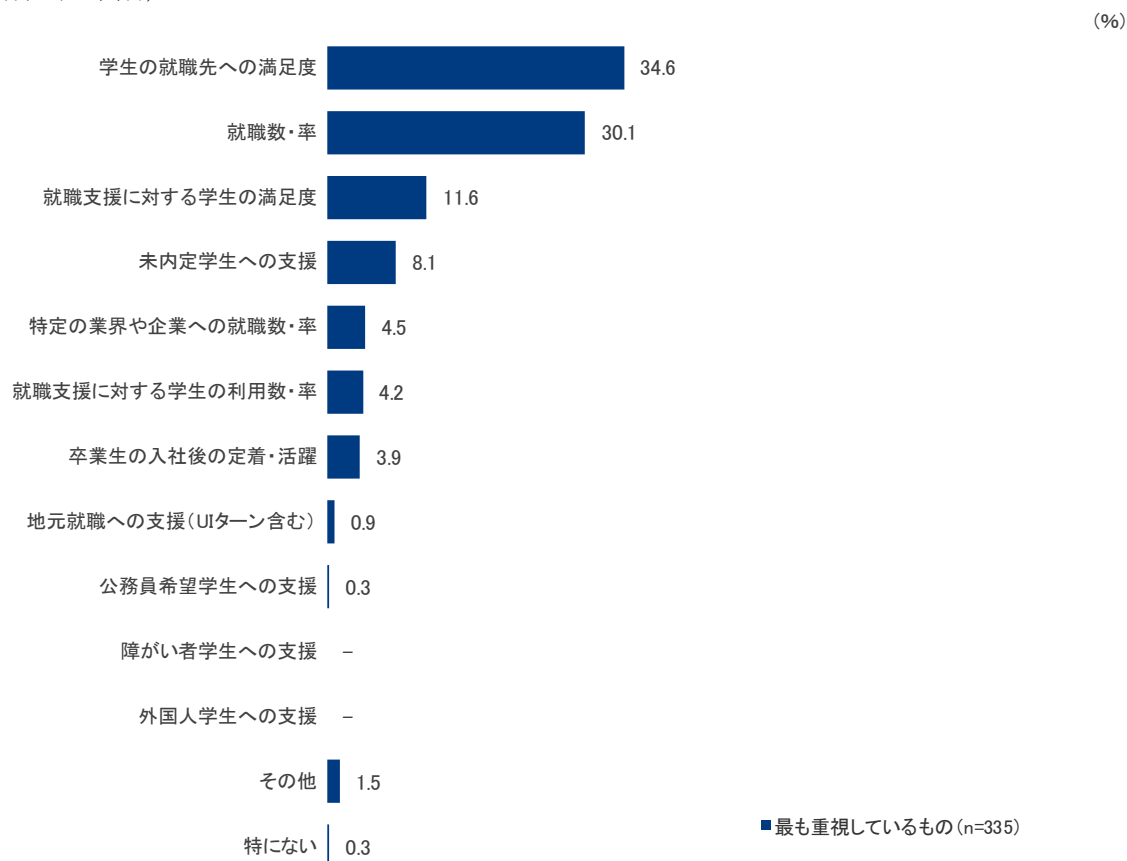
### 3) 就職・キャリア支援で最も重視しているもの

就職・キャリア支援において最も重視しているものは、「学生の就職先への満足度」「就職数・率」が約3割で上位であった。

学生の就職希望者別で見ると、「300～499人」「1,000人以上」で「学生の就職先への満足度」が最も高く、「300人未満」「500～999人」で「就職数・率」が最も高い。

#### ■ 就職・キャリア支援で最も重視しているもの

(全体/単一回答)



(%)

		学生の就職先への満足度	就職数・率	就職支援に対する学生の満足度	未内定学生への支援	特定の業界や企業への就職数・率	就職支援に対する学生の利用率・率	卒業生の入社後の定着・活躍	
全体	n=335	34.6	30.1	11.6	8.1	4.5	4.2	3.9	
学生の就職希望者数別	300人未満	n=118	28.8	33.9	13.6	8.5	5.1	2.5	3.4
	300～499人	n=53	39.6	22.6	15.1	7.5	3.8	5.7	3.8
	500～999人	n=69	29.0	36.2	7.2	14.5	4.3	2.9	2.9
	1,000人以上	n=95	43.2	25.3	10.5	3.2	4.2	6.3	5.3

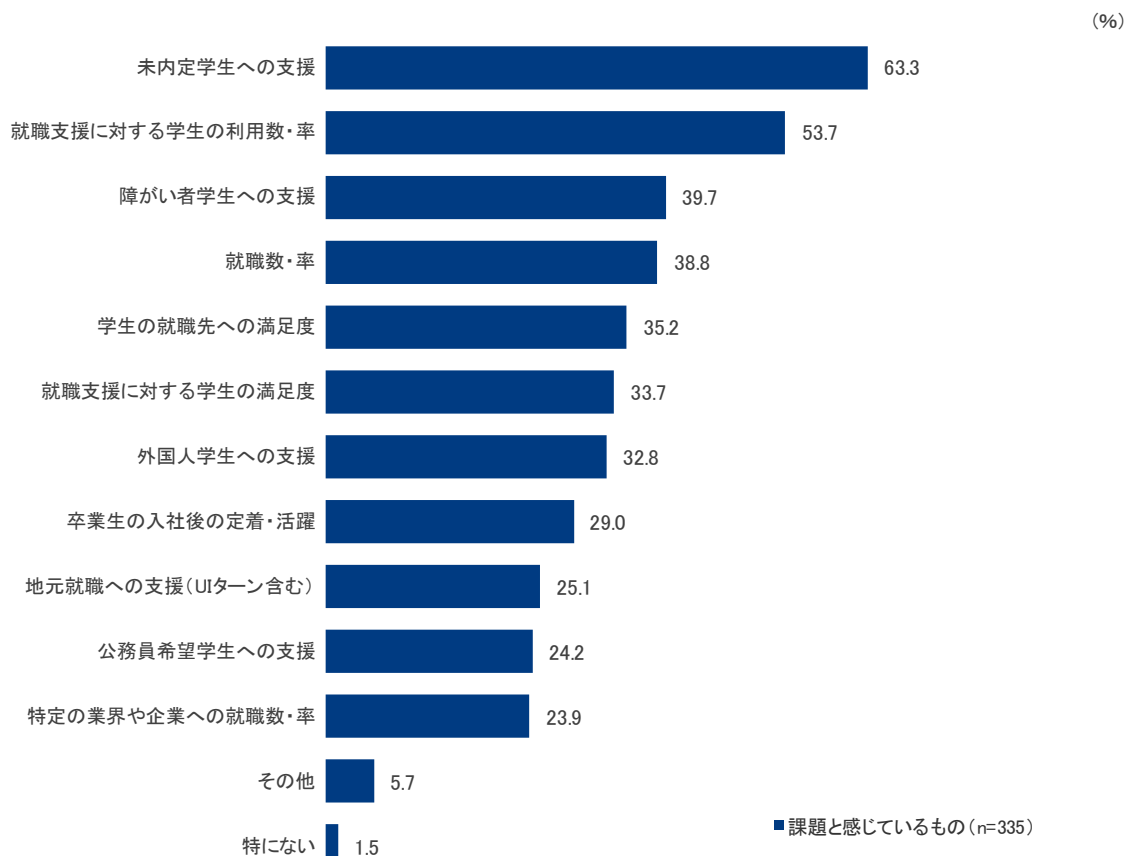
		地元就職への支援(Uターン含む)	公務員希望学生への支援	障がい者学生への支援	外国人学生への支援	その他	特にない
全体	n=335	0.9	0.3	-	-	1.5	0.3
学生の就職希望者数別	300人未満	n=118	1.7	-	-	1.7	0.8
	300～499人	n=53	1.9	-	-	-	-
	500～999人	n=69	-	1.4	-	-	1.4
	1,000人以上	n=95	-	-	-	-	2.1

#### 4) 就職・キャリア支援で課題と感じているもの

就職・キャリア支援で課題と感じているものを見ると、「未内定学生への支援」が63.3%で最も高かった。次に、「就職支援に対する学生の利用数・率」が53.7%で続く。

#### ■ 就職・キャリア支援で課題と感じているもの

(全体/複数回答)



		(%)							
		未内定学生への支援	就職支援に対する学生の利用数・率	障がい者学生への支援	就職数・率	学生の就職先への満足度	就職支援に対する学生の満足度	外国人学生への支援	
全体	n=335	63.3	53.7	39.7	38.8	35.2	33.7	32.8	
学生の就職希望者数別	300人未満	n=118	57.6	41.5	30.5	35.6	31.4	31.4	31.4
	300~499人	n=53	64.2	54.7	30.2	45.3	32.1	35.8	34.0
	500~999人	n=69	59.4	53.6	43.5	42.0	34.8	24.6	31.9
	1,000人以上	n=95	72.6	68.4	53.7	36.8	42.1	42.1	34.7

		卒業生の入社後の定着・活躍	地元就職への支援(Uターン含む)	公務員希望学生への支援	特定の業界や企業への就職数・率	その他	特になし	
全体	n=335	29.0	25.1	24.2	23.9	5.7	1.5	
学生の就職希望者数別	300人未満	n=118	25.4	26.3	27.1	22.0	6.8	1.7
	300~499人	n=53	30.2	28.3	32.1	34.0	3.8	-
	500~999人	n=69	31.9	21.7	20.3	20.3	5.8	2.9
	1,000人以上	n=95	30.5	24.2	18.9	23.2	5.3	1.1

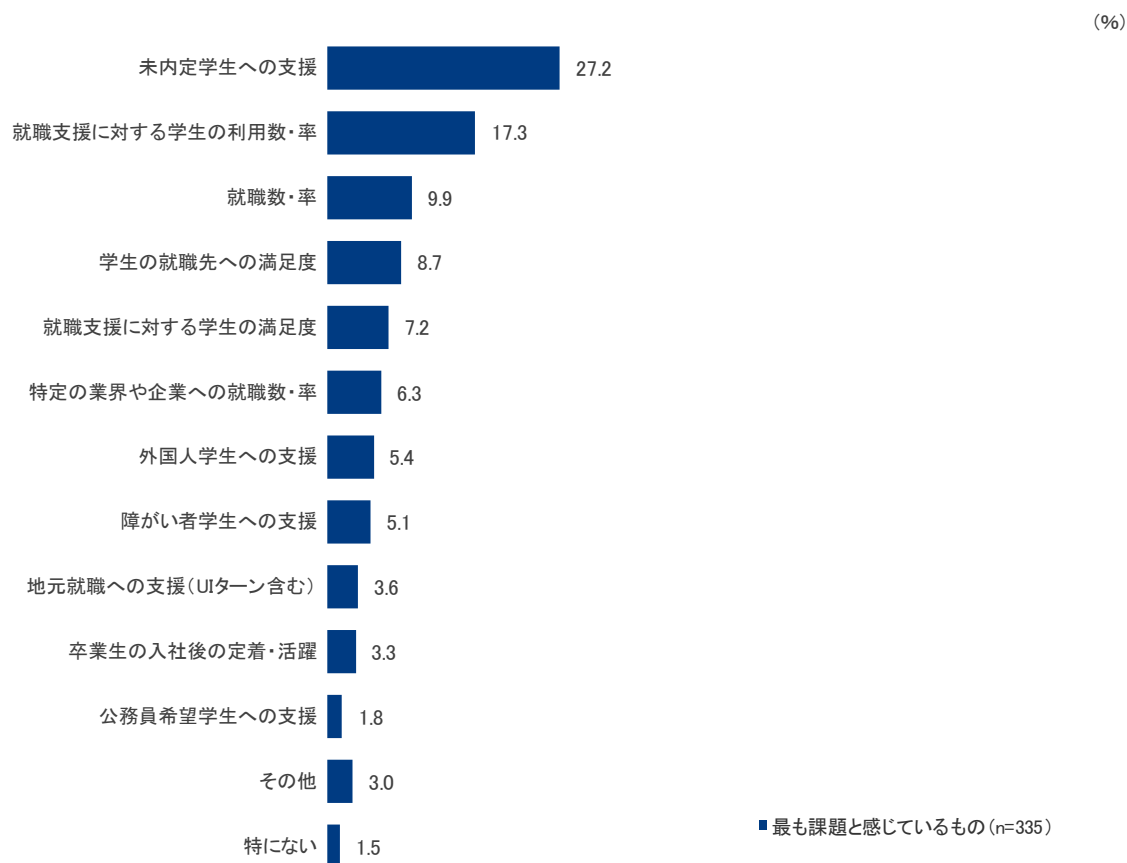
(※) 全体と比べて+10ポイント以上の項目を赤で、-10ポイント以下の項目を青で表記

## 5) 就職・キャリア支援で最も課題と感じているもの

就職・キャリア支援で最も課題と感じているものを見ると、「未内定学生への支援」が27.2%で最も高かった。

### ■ 就職・キャリア支援で最も課題と感じているもの

(全体/単一回答)



(%)

		未内定学生への支援	就職支援に対する学生の利用率・率	就職数・率	学生の就職先への満足度	就職支援に対する学生の満足度	特定の業界や企業への就職数・率	外国人学生への支援
全体	n=335	27.2	17.3	9.9	8.7	7.2	6.3	5.4
学生の就職希望者数別	300人未満	n=118	20.3	13.6	12.7	8.5	5.9	9.3
	300~499人	n=53	22.6	13.2	13.2	7.5	7.5	5.7
	500~999人	n=69	33.3	17.4	7.2	8.7	4.3	4.3
	1,000人以上	n=95	33.7	24.2	6.3	9.5	10.5	4.2

		障がい者学生への支援	地元就職への支援 (Uターン含む)	卒業生の入社後の定着・活躍	公務員希望学生への支援	その他	特になし
全体	n=335	5.1	3.6	3.3	1.8	3.0	1.5
学生の就職希望者数別	300人未満	n=118	6.8	6.8	2.5	2.5	1.7
	300~499人	n=53	5.7	5.7	1.9	1.9	-
	500~999人	n=69	5.8	1.4	5.8	1.4	4.3
	1,000人以上	n=95	2.1	-	3.2	1.1	3.2

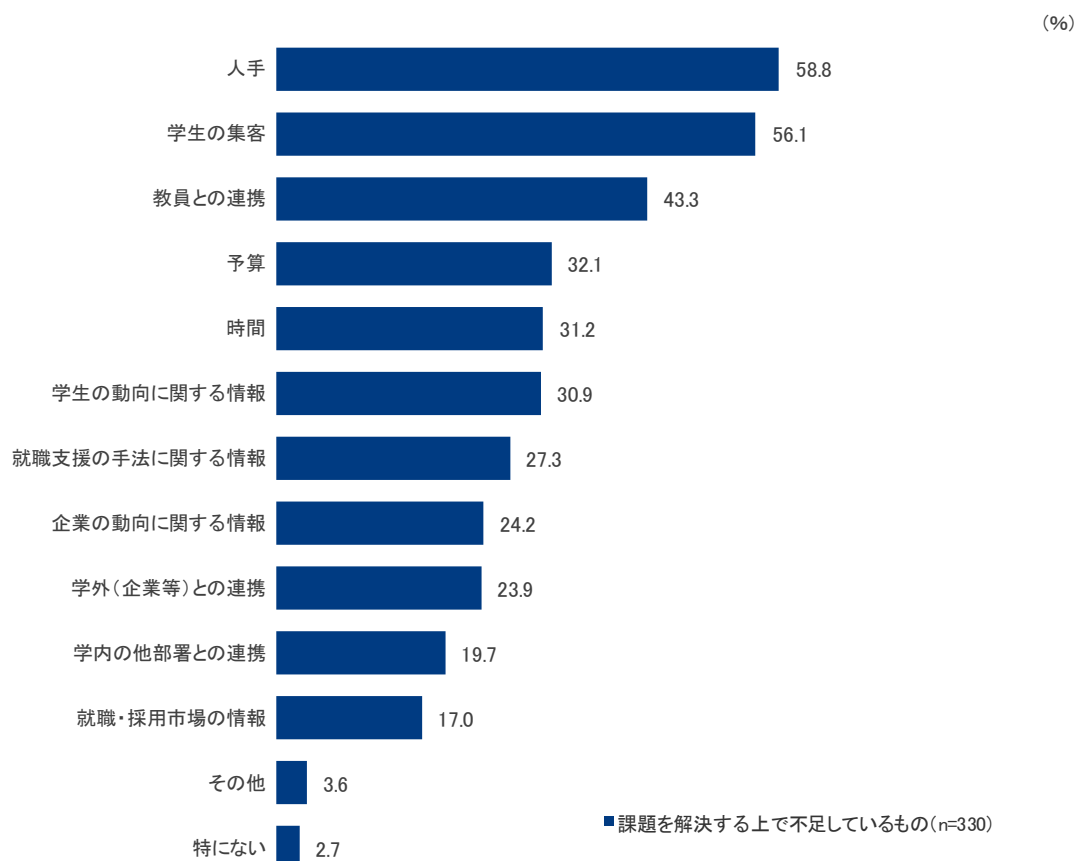
## 6) 就職・キャリア支援の課題を解決する上で不足しているもの

就職・キャリア支援の課題を解決する上で不足しているものを聞くと、「人手」が58.8%で最も高く、「学生の集客」56.1%、「教員との連携」43.3%と続いた。

学生の就職希望者数別で見ると、上位の項目は共通しているが、中でも就職希望者数「1,000人以上」の大学では、半数以上が「教員との連携」に不足を感じていることが分かる。

### ■ 就職・キャリア支援の課題を解決する上で不足しているもの

(就職・キャリア支援で課題と感じているものがある／複数回答)



(%)

		人手	学生の集客	教員との連携	予算	時間	学生の動向に関する情報	就職支援の手法に関する情報	
全体	n=330	58.8	56.1	43.3	32.1	31.2	30.9	27.3	
学生の就職希望者数別	300人未満	n=116	58.6	50.0	30.2	30.2	29.3	31.9	29.3
	300~499人	n=53	52.8	60.4	47.2	28.3	34.0	34.0	28.3
	500~999人	n=67	59.7	50.7	47.8	29.9	28.4	25.4	28.4
	1,000人以上	n=94	61.7	64.9	54.3	38.3	34.0	31.9	23.4

		企業の動向に関する情報	学外(企業等)との連携	学内の他部署との連携	就職・採用市場の情報	その他	特にない	
全体	n=330	24.2	23.9	19.7	17.0	3.6	2.7	
学生の就職希望者数別	300人未満	n=116	24.1	25.0	11.2	19.0	6.0	5.2
	300~499人	n=53	24.5	17.0	24.5	18.9	3.8	1.9
	500~999人	n=67	25.4	20.9	20.9	19.4	1.5	1.5
	1,000人以上	n=94	23.4	28.7	26.6	11.7	2.1	1.1

(※) 全体と比べて+10ポイント以上の項目を赤で、-10ポイント以下の項目を青で表記

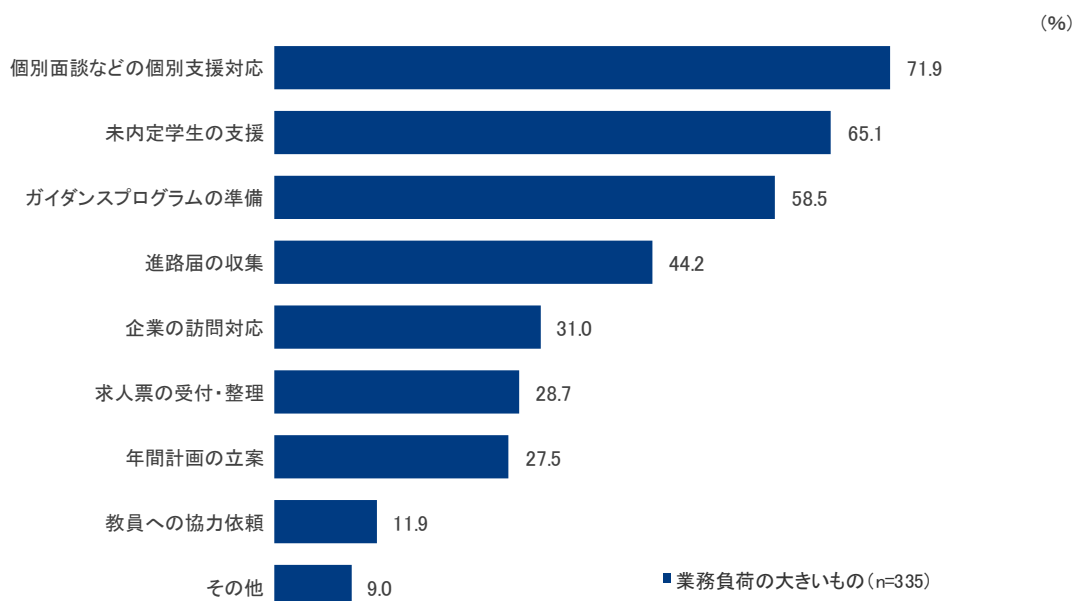


## 7) 就職・キャリア支援業務の中で業務負荷の高いもの

就職・キャリア支援業務の中で業務負荷の高いものを聞くと、「個別面談などの個別支援対応」が71.9%で最も高く、「未内定学生の支援」65.1%、「ガイダンスプログラムの準備」58.5%と続く。学生の就職希望者数別で見ると、就職希望者数「1,000人以上」の大学では、「進路届の収集」も6割を超え、負荷が高いと回答した割合が高かった。

### ■ 就職・キャリア支援業務の中で業務負荷の高いもの

(全体/複数回答)



		(%)									
		個別面談 などの個 別支援対 応	未内定学 生の支援	ガイダンス プログラ ムの準備	進路届の 収集	企業の訪 問対応	求人票の 受付・整理	年間計画 の立案	教員への 協力依頼	その他	
全体	n=335	71.9	65.1	58.5	44.2	31.0	28.7	27.5	11.9	9.0	
学生の 就職希望者数別	300人未満	n=118	71.2	57.6	52.5	25.4	25.4	29.7	27.1	13.6	7.6
	300~499人	n=53	81.1	77.4	56.6	45.3	30.2	26.4	22.6	11.3	5.7
	500~999人	n=69	75.4	66.7	56.5	50.7	33.3	31.9	24.6	8.7	11.6
	1,000人以上	n=95	65.3	66.3	68.4	62.1	36.8	26.3	32.6	12.6	10.5

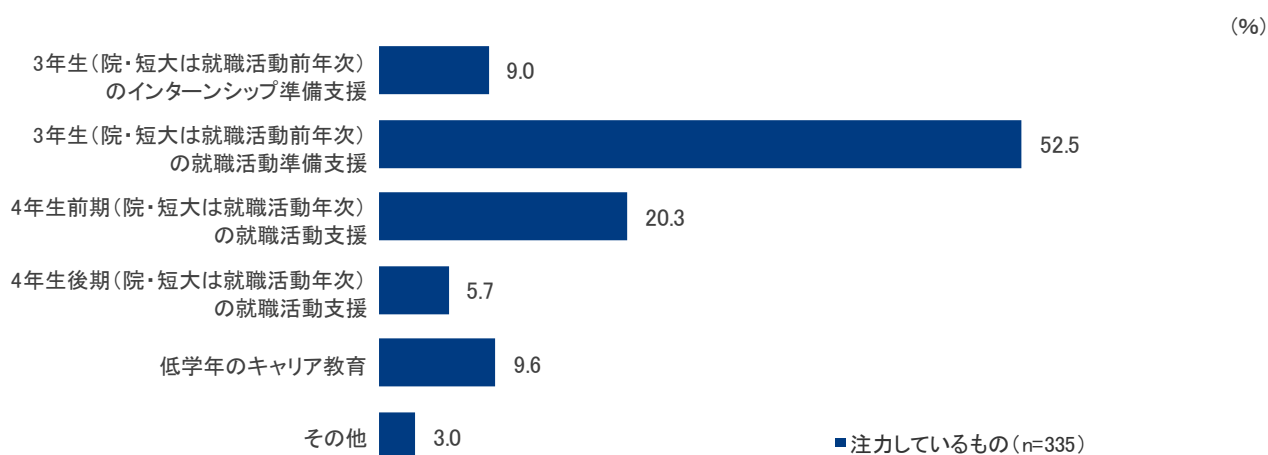
(※) 全体と比べて+10ポイント以上の項目を赤で、-10ポイント以下の項目を青で表記

## 8) 就職・キャリア支援業務の中で注力しているもの

就職・キャリア支援業務の中で注力しているものを聞くと、「3年生（院・短大は就職活動前年次）の就職活動準備支援」が52.5%で最も高い結果となった。

### ■ 就職・キャリア支援業務の中で注力しているもの

(全体/単一回答)



(%)

			3年生(院・短大は就職活動前年次)のインターンシップ準備支援	3年生(院・短大は就職活動前年次)の就職活動準備支援	4年生前期(院・短大は就職活動年次)の就職活動支援	4年生後期(院・短大は就職活動年次)の就職活動支援	低学年のキャリア教育	その他
全体		n=335	9.0	52.5	20.3	5.7	9.6	3.0
学生の就職希望者数別	300人未満	n=118	10.2	44.1	31.4	4.2	8.5	1.7
	300~499人	n=53	7.5	60.4	17.0	5.7	7.5	1.9
	500~999人	n=69	4.3	58.0	14.5	7.2	11.6	4.3
	1,000人以上	n=95	11.6	54.7	12.6	6.3	10.5	4.2

(※) 全体と比べて+10ポイント以上の項目を赤で、-10ポイント以下の項目を青で表記

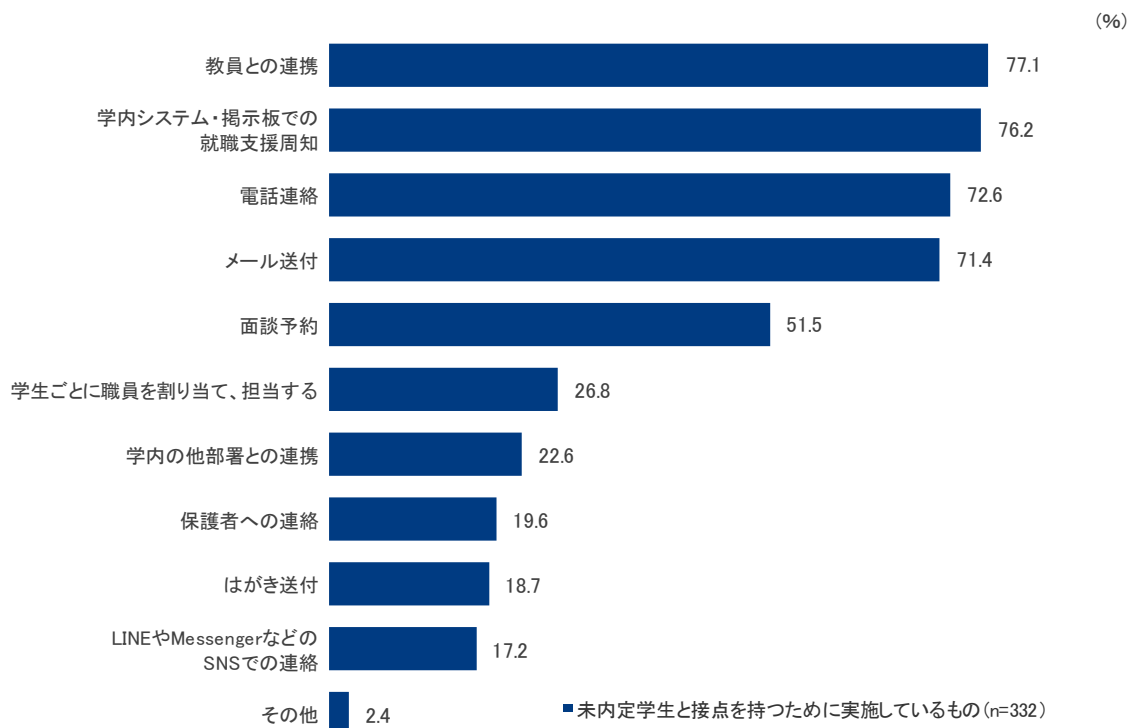
## 9) 未内定学生と接点を持つために実施しているもの

未内定学生と接点を持つために実施しているものを聞くと、「教員との連携」「学内システム・掲示板での就職支援周知」「電話連絡」「メール送付」が7割を超え、上位であった。各大学でさまざまな連絡方法を重ねて実施していることが分かる。

学生の就職希望者数別に見ると、就職希望者数の多い大学の方がより多くの連絡手段を取っている様子がうかがえる。

### ■ 未内定学生と接点を持つために実施しているもの

(未内定学生の把握を実施している／複数回答)



		(%)						
		教員との連携	学内システム・掲示板での就職支援周知	電話連絡	メール送付	面談予約	学生ごとに職員を割り当て、担当する	
全体	n=332	77.1	76.2	72.6	71.4	51.5	26.8	
学生の就職希望者数別	300人未満	n=117	76.9	60.7	63.2	67.5	39.3	14.5
	300~499人	n=53	86.8	71.7	81.1	73.6	43.4	15.1
	500~999人	n=69	82.6	85.5	79.7	73.9	63.8	46.4
	1,000人以上	n=93	67.7	91.4	74.2	73.1	62.4	34.4

		(%)					
		学内の他部署との連携	保護者への連絡	はがき送付	LINEやMessengerなどのSNSでの連絡	その他	
全体	n=332	22.6	19.6	18.7	17.2	2.4	
学生の就職希望者数別	300人未満	n=117	16.2	6.8	3.4	12.0	3.4
	300~499人	n=53	20.8	18.9	15.1	9.4	-
	500~999人	n=69	23.2	24.6	17.4	14.5	-
	1,000人以上	n=93	31.2	32.3	40.9	30.1	4.3

(※) 全体と比べて+10ポイント以上の項目を赤で、-10ポイント以下の項目を青で表記